

令和5年度 第1回理事会議事録

- 1 日 時 令和5年4月25日（火）午後3時～5時55分
- 2 方 法 会場（AP横浜）とオンライン（Zoom）による会議
- 3 出席者 理事13名、監事2名、顧問1名（理事5名、監事1名はオンライン参加）
- 4 進 行 議長（会長）

- 5 協議事項
 - (1) 令和4年度事業報告（案）について
事務局より資料1について説明を行い、協議の結果、案のとおり総会に諮ることとなった。
 - (2) 令和4年度収支予算の決算報告（案）について
事務局より資料2について説明を行い、協議の結果、案のとおり総会に諮ることとなった。
 - (3) 令和4年度 第11期定期総会開催及び優良職員等表彰について
事務局より資料3について説明を行い、協議の結果、定期総会の次第及び役割分担が決定された。また、優良職員表彰、日精協永年勤続病院職員表彰の受賞者が原案どおり承認された。
 - (4) 会員の変更、会員病院の届出事項変更について
資料のとおり、けやきの森病院より会員・院長の変更届、横浜市立大学附属病院より会員の変更届があり、協議したところ、会員の変更については定款6条による承認となった。また、湘南さくら病院より会員・院長の変更届があったが、変更前の会員変更届が未提出となっていたため、承認は保留となった。さらに、横浜市立大学附属病院、日向台病院より事務長の変更届について報告がされた。
 - (5) 各種委員の推薦について
横浜市実地審査担当精神保健指定医は、協議の結果、現在の15名を引き続き推薦することとなった。
横浜市精神保健福祉審議会委員は、協議の結果、引き続き山口副会長、佐伯理事、長谷川吉生監事を、新たに馬場理事を推薦することとなった。
川崎市実地審査担当精神保健指定医は、協議の結果、現在の9名を引き続き推薦することとなった。
 - (6) 協会創立60周年記念事業について
資料のとおり、記念講演者、招待者について協議を行い、関係団体と4県市の幹部を招待することとし、記念講演者については引き続き検討していくこととなった。
 - (7) その他
 - ・後援名義使用許可申請について
事務局より資料7について説明を行い、協議の結果、日本精神科看護協会（第20回こころの日）、神奈川県保険医協会（市民公開講座、第31回在宅医療・介護セミナー）からの後援名義使用を承認することとなった。
 - ・令和5年度神奈川メンタルヘルス対策推進連絡会議について
協議の結果、増田理事が出席することとなった。
 - ・神奈川精神医療人権センターからの依頼文書について
協議の結果、アンケート協力依頼について、各病院に周知することはせず、問い合わせがあった場合には回答していない病院が多い旨を案内することとなった。

- 6 報告事項
 - (1) 日精協報告について
資料のとおり、令和5年4月6日（木）に開催された4月理事会について、大野支部長より報告があった。
 - (2) 各部長会について
資料のとおり、看護部長会の第3回研修会の開催結果、また、4月に実施した3部

長会の第1回運営委員会についてそれぞれ報告された。

- (3) 4月～5月の連休中の休日輪番病院確保等について
資料のとおり、現時点での輪番表により調整状況が報告され、空床等となっている日については会長からも協力依頼があった。
- (4) 第8回理事会議事録、臨時理事会議事録について
議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。

・次回理事会は、6月13日(火)に開催することとなった。

最後に、4縣市より令和5年度当初予算及び新型コロナウイルス感染症の類型変更に伴う精神科コロナの対応について説明があった。

以上で、全ての審議を終了し議長は午後5時55分理事会の閉会を告げた。